



Kashimazudaiko Ibuki



響け！我らの熱き鼓動を！
香島津太鼓 息吹



渡 駿介
watari shunsuke
石崎小学校 3年
太鼓歴 4年



中西 瑞樹
nakanishi mizuki
香島中学校 3年
太鼓歴 5年



葛原 悠平
kuzuhara yuhei
香島中学校 2年
太鼓歴 9年



渡 智紀
watari tomonori
香島中学校 3年
太鼓歴 7年 (チームリーダー)



武元 将太
takemoto shota
石崎小学校 4年
太鼓歴 3年



中西 美羽
nakanishi miu
香島中学校 2年
太鼓歴 2年



坂本 拓也
sakamoto takuya
香島中学校 2年
太鼓歴 6年



干場 恒輝
hoshiba koki
香島中学校 2年
太鼓歴 8年 (副リーダー)



チーム名 香島津太鼓 息吹
代表 葛原伸二
リーダー 渡 智紀
メンバー数 8人

「全国でレベルが高いのは加賀地区の太鼓チーム。そのチームに匹敵する青少年を中心とした太鼓チームを作り上げたい想いで平成16年に立ち上げた」と話す葛原代表。

それから7年。小学校3年生から中学校3年生までの若き太鼓奏者が8人。自らの魂を太鼓につつけ、躍動する演奏で観客を魅了してきた。

高い演奏力を身につけた香島津太鼓息吹は、8月27日から東京で開催される東京国際和太鼓コンテストに石川県代表として出場(2回目)が決まった。リーダーの渡智紀さんは、「東京という大舞台で、チーム一丸となって香島津太鼓息吹の演奏を見てもらいたい」と力強い言葉で答えてくれた。

この大会を機に、香島津太鼓息吹は能登から全国へと躍進し、若き太鼓奏者8人は、一人一人が成長した面持ちで故郷七尾に凱旋してくれるだろう。

いずみ 泉
あかり 安香莉さん
(23歳・鵜浦町)



このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式で紹介し
ます。泉さんは前回の平田さんの紹介です。

リレーで紹介

フレッシュさん



「小さい頃から機
械をいじるのが好
きで、おもちゃな
どをよく分解して
遊んでいた。理数
系が得意だったの
で今の仕事に」。

『診療放射線技師』として、恵寿総合
病院の放射線課で最新の医療機器を
自在に操る。県外の大学に進学し、
県内就職を目指していたとき、募集
があった現病院の採用試験に応募し
合格。現在2年目になる。「職場の環
境が良くて、とても働きやすい」と

話し、「七尾は生まれ育った場所なの
で、病院内に知人や友人、学校の先
輩などが多く、何でも気軽に相談で
きるのがいい」と地域密着の土地柄
もお気に入りだ。

プライベートでは、夕方、仕事が
終わってから千里浜まで友達とドラ
イブに行ったり、行き先だけ決めて
旅に出かけたりと行動派だ。「寝る間
を惜しんで外にでかける(笑)」と話
し、「これからも行ったことがないと
ころに旅行に行きたい。いろんな場
所に行く刺激を受ける。行き当た
りバツタリも意外と楽しいもの」と、
楽しみは尽きない。

ながた 永田 房雄さん
(62歳・栄町)

出身地 山口県大島郡周防大島町

「実を言うと祖父が田鶴浜出身で、
私のルーツは七尾なんだよね」と意
外な話から始めた永田さん。

大学時代は水産などの研究に没頭。
仕事も水産関係に勤務できればと昭



思えば遠くへ
来たもんだ

和46年に、現在の石川県水産総合セ
ンター能登島事業所に就職。「大阪か
ら電車で七尾に到着。次はフェリー
に乗って、次はバスで職場到着。到
着したとき、なんて辺ぴなところに
来たんだろう」と当時の思い出を話
す。「週末になれば、七尾の酒場に
行くのが楽しみでねえ。行くたびに
先輩の家に泊めてもらい、新婚ホヤ
ホヤの先輩夫婦に迷惑かけたことも
あったよ」とはにかむ場面も。

今は「地域活動が大事」と矢田郷
公民館副館長を務める。自分で話し
て自分で笑うユーモラスな雰囲気
を持つ永田さんを見て、地域を支える
原動力になっている人だと感じた。



このコーナーでは、県外から市内へ転入された人
の声を紹介します。